

伊賀地区

伊賀1～

1: 前川地区の同和対策で新しい施設を作ることが出来た

2: ふる館をどの様に建替えていくのか
3: 学校の統廃合はないのか

4: ふる館の機能は全部なくなるの？

5: 複合化した場合、ふる館の改修の設計の概要は？

8: 施設の増えたのは旧町村が合併して各地区の均衡をとるためにしたので今となっては重荷になってしまっている

7: 平成27年から出発予定をしている児童クラブはどうなるのか？

6: きらめきの縮小についてきっちり説明してほしい

9: かがやきの郷の地元への移行

12: 建替え費が書いてあるが7.1億円でいけるのか？

11: 支所、公民館、市民センター、図書館を一括して複合施設として新しく建築する

10: 児童クラブの複合化？説明求む

13: 機能は地区内だけでなく地区外も合わせて考える(例)いがまちだけでなく市全体

14: 子どもが増える対策してほしい

15: 財政の縮小は将来のこどもたちにとっても大切なことなのだと思うが地域の格差が広がるのはどうか？

16: 学校関係者の出席がない

17: 行政の説明する時間が長いので意見交換の時間が短い

23: まとめた意見をどのように集計しているのか？

19: 議員の話はどうか

18: 議会の質問の資料づくりと違いますか。議員が説明すべき。逆である。

24: 住民の意見がないのではなく発言する場がない

25: 人口減少は合併した時からわかってきた。計画が甘い。

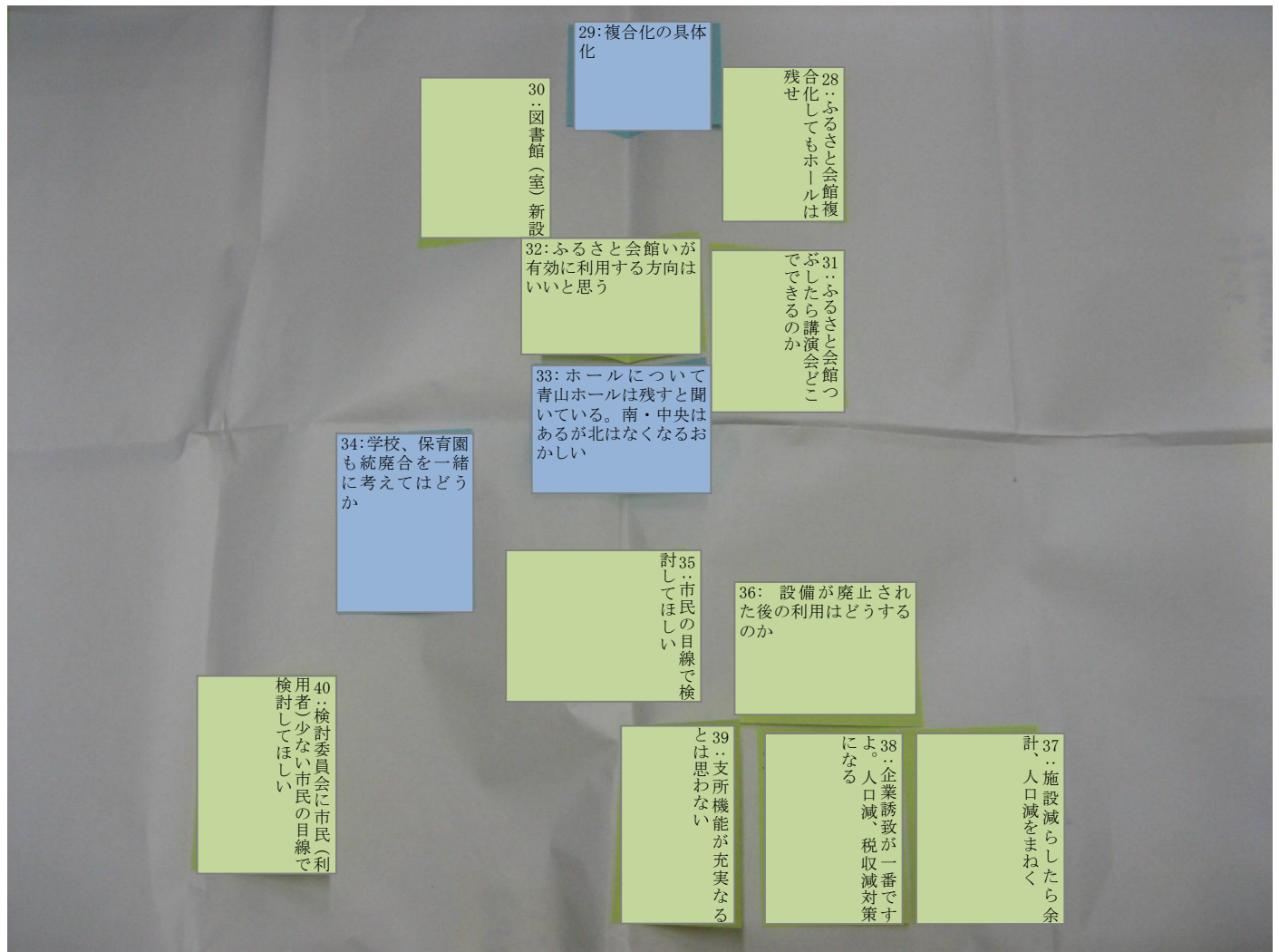
26: 今後、全国的な人口減少によることで伊賀市でもこの施設の老朽化のこともあり使われなくなるか今降っているお天気がおくれたのか

20: 政務調査費はどこへ

21: 議員も出席要請すべき

22: 自治協で管理する

役所は人件費を削り住民にその削減した人件費を自治協議会が労働で維持管理運営を肩代わりしその執行に当たっては決裁権を行政が譲渡する。細部の調整に注意する所は代表やその親族としての報酬を得るさらに公共性や将来の福祉も視野にいれれば利用の幅が広がり結果収益の改善に繋がる可能性もあります。一方利用者は規範公序良俗を遵守し侵さない。参加者の年齢層も子育て世代の若い人に積極的に参加してもらい簡易な方法ではなく知恵を絞ればきつことその先に道は見えてきます。これが誠の住民自治の姿なのではないでしょうか。



伊賀41～

49: いまさ
ら!

50: 国税を縮
小して地方
税を特に末
端税を増や
す

51: 利便性と
高齢化問題

52: 人口減対
策との整合
性は(校区)

53: 施設の減少
市財政の減少
地元住民者の
増加?

54: 施設の構築
は集中的に予
算を投下し、
短期間で完
成すべきだ

55: 支所、市民
センター複
合施設とし
、公民館を
小規模建替
とする

56: 縮小の地区
への引渡し
の条件は

57: いがまち
公民館は補
強してで残
したほうが
いいと思う

41: 図書室は
分館にふさ
わしいよう
に面積を大
きくする

45: ふるさと
会館の複
合化賛成

46: ふるさと
会館を複
合化する
それぞれの
機能は
達成でき
るか
具体的な
案がほ
しい

47: 複合施
設にする
設計説明
が必要

44: ふるさと
創生事業
各伊賀市
で1億
円を
作
る
途
半
端
だ

48: 競売に
かけて
民間に
払い
下
げ
たら
費用
も
い
ら
な
い
し。

43: 中心
なものを
残して
防災、
避難
点に
した
ら
ど
う
か

42: 今回
の集約
結果
に
対
し
て
意
見
交
換
を
希
望

59: 各地域での文化活動、公民館活動などが確保される必要がある

60: 介護予防施設縮小で地元譲渡では行政サービスの低下で住民負担につながる。考えるべき。

61: ソフト事業とハード事業を分けて考える

62: 老人憩いの家などの福祉施設等を介護保険制度の改正による市町村事業による部分で地域へより広い対象で再利用することを考えてみては

64: いがまち図書室(分館)現在の面積81㎡(書庫を入れると115㎡)、せめて200㎡以上(書庫を入れると230㎡)にしてほしい
65: 閲覧コーナー、学習コーナーをゆったりとする
66: 児童図書コーナー、気がねなく保護者が声をだして読んでやれるコーナーを設けてほしい

58: 柘植放課後児童クラブについては、耐震性がないため小学校施設の利用を考えてほしい

63: 縮小後の健康器具の維持管理費を地元が負担するのか

67: 市民センター、公民館、支所、図書室の統合は賛成する

68: 柘植地域の住民パワーで伊賀市をPRしている柘植歴史民俗資料館は柘植で残すべき

69: テレビ、新聞で伊賀をPRする柘植歴史民俗資料館は、柘植で残すべし

70: 現在、生きている施設は殺すな。柘植歴史民俗資料館は残せ。

72: 柘植公民館廃止のとき、都美恵太鼓の練習場？郷土芸能保存の観念

73: 壊した時の跡地はどうなるのか？

71: 高齢者向けのゴミ収集対策を考える

83: 玄関ホール入った所にある水のパティオ（どのくらいのスペースがあるのか明らかでない）のスペースを有効に使っていくべきです

76: ふるさと会館の芝生広場は子供達が遊べる広場にしてはどうでしょうか

81: 図書室についても子供達がゆったりと本を読んだり学習するスペースを充分とって計画してください。

82: 会議室にある大きなイスはスペースを取りすぎてムダです。普通のイスで充分だと思えます。

77: ホール機能の廃止という場合、他の楽屋、リハーサル室、大道具庫、ピアノ庫、大ホールのホワイエなどすべて含めて廃止するのですか。

78: 現在のふるさと会館いが入ったところの玄関ホール奥、会議室の前にある小ホールホワイエの広いスペースを有効に活用すべきです

79: いがまちには複合化すべきは物が多いのでどんどん複合化してほしい。少々の不便は辛抱するつもりです。

80: ふるさと会館に集中するのは疑問。耐震対策と投資何事も序々に！

74: 建物の改修と同時にソフト面の充実を望みます。大きな支所も

75: 複合化した場合、現施設を利用している者の交通手段が確保できなくなる。柘植から西柘植

伊賀84~

